

札幌地域における野菜の入荷量及び卸売価格の見通し

平成26年10月31日
農林水産省生産局農産部園芸作物課
電話 03-3502-8111 (内線 4822)

対象年月：平成26年11月
対象市場：札幌市中央卸売市場

【10月の経過（実績見込み）】

① 入荷の動向

10月の野菜は、北海道ものを中心に、関東平坦地、四国及び九州もの等が出回った。主要野菜の入荷量は、総じて前年をやや下回る入荷となった。

「前年を大幅に上回った」のは、なすの1品目である。

「前年を上回った」のは、キャベツの1品目である。

「前年をやや上回った」のは、ピーマンの1品目である。

「前年並み」は、だいこん、ほうれんそう、ねぎ、きゅうり、トマト、たまねぎの6品目である。

「前年をやや下回った」のは、はくさい、レタスの2品目である。

「前年を下回った」のは、にんじん、ばれいしょの2品目である。

「前年を大幅に下回った」のは、さといもの1品目である。

② 価格の動向

このような入荷状況のもとで、10月の野菜価格は、総じて前月平均をかなり下回る価格となった。

「前月並み」は、トマトの1品目である。

「前月平均を下回った」のは、にんじん、キャベツ、ねぎ、きゅうり、ばれいしょ、さといもの6品目である。

「前月平均をかなり下回った」のは、だいこん、ほうれんそう、なす、ピーマン、たまねぎの5品目である。

「前月平均を大幅に下回った」のは、はくさい、レタスの2品目である。

【11月の見通し】

① 入荷量の見通し

11月の野菜は、北海道ものを中心に、関東平坦地、近畿及び九州もの等が出回る。野菜の入荷量は、総じて前年並みの入荷が見込まれる。

「前年を上回る」のは、高知県及び熊本県主体のなす、北海道主体のばれいしょ、埼玉県及び宮崎県主体のさといもの3品目である。

「前年をやや上回る」のは、北海道主体のほうれんそうの1品目である。

「前年並み」は、北海道及び千葉県主体のだいこん、北海道主体のはくさい、ねぎ、北海道及び茨城県主体のキャベツ、レタス、北海道及び宮崎県主体のきゅうり、北海道及び熊本県主体のトマトの7品目である。

「前年をやや下回る」のは、北海道主体のにんじん、北海道及び宮崎県主体のピーマンの2品目である。

「前年を下回る」のは、北海道主体のたまねぎの1品目である。

② 価格の見通し

このような入荷状況のもとで、11月の野菜価格は、総じて前月並みの価格が見込まれる。

「前月平均を大幅に上回る」のは、レタスの1品目である。

「前月平均をかなり上回る」のは、ねぎ、きゅうり、なす、ピーマンの4品目である。

「前月平均を上回る」のは、だいこん、キャベツの2品目である。

「前月平均をやや上回る」のは、はくさいの1品目である。

「前月平均並み」は、にんじん、ほうれんそう、ばれいしょ、さといも、たまねぎの5品目である。

「前月平均をやや下回る」のは、トマトの1品目である。

※ この資料の内容は、10月31日（金）現在で見込んだものであり、気象条件等により変動があり得る。

(参考) 入荷量と卸売価格の見込み

	11月の入荷量			11月の卸売価格			11月の主産県
	前月比較	前年比較	5カ年平均比較	前月比較	前年比較	5カ年平均比較	
だいこん	△	=	△	○	△	=	北海道(77.2%)、千葉(9.0%)
にんじん	△	△	=	=	△	△	北海道(96.6%)
はくさい	=	=	○	○	△	=	北海道(83.7%)
キャベツ	△	=	△	○	△	=	北海道(71.9%)、茨城(19.5%)
ほうれんそう	△	○	△	=	△	△	北海道(94.9%)
ねぎ	△	=	=	○	○	=	北海道(92.6%)
レタス	△	=	=	○	△	△	茨城(68.4%)、北海道(22.5%)
きゅうり	△	=	△	○	△	△	宮崎(75.8%)、北海道(18.5%)
なす	△	○	△	○	△	△	高知(70.7%)、熊本(8.6%)
トマト	△	=	=	△	△	△	北海道(65.5%)、熊本(33.0%)
ピーマン	△	△	=	○	△	△	宮崎(61.1%)、北海道(26.3%)
ばれいしょ	○	○	○	=	△	△	北海道(99.9%)
さといも	○	○	△	=	○	○	宮崎(28.9%)、埼玉(28.3%)
たまねぎ	○	△	○	=	△	△	北海道(99.5%)

入荷量と卸売価格の符号

符号	入荷量	卸売価格
○	多い	高い
=	同じ	横ばい
△	少ない	安い